

# 義手・義足とAIの関わりと展望

## 「本物の手足のような義手・義足はできるのか？」

**本道 伸弘 先生**

人間総合科学大学 保健医療学部

リハビリテーション学科 義肢装具学専攻 助教

義肢装具士（国家資格） 修士（医科学）

令和 4 年 1 月 13 日 (木)

18:00 - 18:20

らてとーく

夕方時間帯に開催!

ショート  
トーク!

Zoom開催(オンラインのテレビ会議システム) 参加費:無料

### 演者から

機械と人のコミュニケーションをヒューマンマシンインターフェイス(HMI)といい、生体信号により機械を操作することができます。生体信号には脳活動の信号の脳波(EEG)や筋活動の筋電位(EMG)といった信号があります。義肢装具の分野では、義手において筋活動を利用した筋電義手が1965年にオットボック社により開発されています。現在では一般化され、商用化されています。必要とされている方々に義肢装具士が医師の指示の下、筋電義手が提供されています。

近年では機械学習が身近になり、多くのデバイスに人工知能(AI)が実装され、社会で活用されています。筋電義手ではなしえなかった細かい動作をAIの力を借りて実現できる環境が整ってきています。今回は、病気や事故による失った手足の代替となる、最新の技術を使った義手・義足の最前線をお伝えしたいと思います。

QRコード



web (日本心身健康科学HP) もしくは  
E-mail (jshas@human.ac.jp) から お申し込みください。

Webからのお申込：QRコード、もしくは日本心身健康科学会 ホームページの  
トップ画面に掲載されている「心身健康科学サイエンスカフェ開催のお知らせ」  
参加フォームにてお申込み下さい。

心身健康アドバイザーの方は参加により、  
1ポイントの更新ポイントが付加されます

主催：人間総合科学 心身健康科学研究所  
共催：人間総合科学大学・日本心身健康科学会